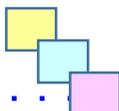


将来はこんなまちになってほしい！ こういう暮らしをしたい！ その暮らしを実現するためには、誰が何をする必要がありますか？

(色別の付せんに書いてみましょう)

誰が  市民・NPO・事業者が・・・
行政・議会が・・・
みんなで力を合わせて（協働）・・・

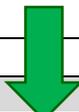


- ① 身近（広陵町内）にある参加・参画・協働の事例を探そう。
- ② その主体どうしの関係は如何に？
- ③ 「だからうまくいった」点をあげてみよう。

グループA

こんなまちに！ こんな暮らしを！	市民・NPO・事業者が	行政・議会が	みんなで力を合わせて（協働）
---------------------	-------------	--------	----------------

すべての世代が安心して暮らせるまちに	皆が役割を持ち、地域で活動 隣近所が支え合えるように 地域のお父さん、お母さんで子ども の面倒を見合える 行政に頼りすぎない	教育に力を入れる 医療機関の充実	地域力の強化 防災力の強化
誰かの“やりたい気持ち”を後押し出来るまち	スキル・ノウハウをシェアする 自分の思いを発信する 自分の成功(失敗)体験の発信 既存事業と新規事業のコラボ リタイア組の活用	プラットフォームを支援 専門家の手配、大学との連携 補助金 中央政府等とのつなぎ 広報支援	
人と人とのつながり	誰もが協力できる環境 支え合う仲間をふやす	話し合える場づくり	いろいろな人の意見を聞く 行政に頼り切らない



① 身近（広陵町内）にある参加・参画・協働の事例を探そう。 ② その主体どうしの関係は如何に？ ③ 「だからうまくいった」点をあげてみよう。	①協働事業の例	②主体どうしの関係	③うまくいった理由
	小学生向け職業体験	来年もやりたい	町民発案
	まちづくり連絡会	地域の諸団体の参画	身近な問題
	地域防災訓練	住民が主体	防災会の結束 防災訓練は旧村の参加は少ない
	地域の祭	住民が主体	各団体の参加
・必要と思っていることが、住民と行政で一致すること ・自分たちの身に起こることである、という意識を強く持つ ・住民主体で立ち上げる連絡会等を設立(住民の声が反映されやすい) ・あらゆる情報が住民一人一人に届くような体制			

グループB

こんなまちに！ こんな暮らしを！	市民・NPO・事業者が	行政・議会が	みんなで力を合わせて（協働）
住みやすい、働きやすいまち	地域コミュニティ 事業者の経営努力	公共交通の整備 中間支援機関設立	協働の目的を明確に
安心して住めるまち	近所と仲良くする 知らない人にもあいさつする 地域の方で見守りをする(防犯等) コミュニティが大事だけど、自治会の壁が高いので低くする	住民の声を聞いてくれる 交流を深める もっと若者が読みたくなる「広報」づくり	他人事と思わない アットホームな付き合い
安心して暮らせるまち	お互いにあいさつする 見守り活動等ふれあう機会をつくろう	つながりの窓口になる 相談先をわかりやすく	積極的にイベント等に参加する 情報を交換する



<p>① 身近(広陵町内)にある参加・参画・協働の事例を探そう。</p> <p>② その主体どうしの関係は如何に？</p> <p>③ 「だからうまくいった」点をあげてみよう。</p>	①協働事業の例	②主体どうしの関係	③うまくいった理由
	神社の掃除 溝の掃除		
	クリーンキャンペーン	住民、事業所	
	自治会の掃除、見守り活動		
	真美一まちづくり連絡会		自分事として考え、意見を言っている
<p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の公開、共有 ・自分事として考える ・強いリーダーシップ ・きっかけづくり(お試し参加、見るよりやってみる等) ・目的を明確にする(興味を持てるような) <p>例 防災訓練 参加 在来地域 参画 真美ヶ丘地域</p>			

グループC

こんなまちに！ こんな暮らしを！	市民・NPO・事業者が	行政・議会が	みんなで力を合わせて（協働）
住みよいまちづくり	いろいろなイベント等へ参加する		各種団体と協力する
子どもが安心して暮らせるまち			行政、住民、家族 京都オムロン太陽の家
多様な人が住めるまち	自治会で多様性を認め合う	同性婚を認める	
かぐや姫の郷	かぐや姫サミット 商工会の協力 宮郷7カ大字 讃岐会が運営	かぐや姫 HP 売店、朱印帳等かぐや姫グッズ 大型バス駐車場、観光客無料パーキング 馬見丘陵公園の巢山古墳とのコラボ、観光ルート	各大字子ども会 Web、クラウドファンディング 自警団



<p>① 身近（広陵町内）にある参加・参画・協働の事例を探そう。</p> <p>② その主体どうしの関係は如何に？</p> <p>③ 「だからうまくいった」点をあげてみよう。</p>	①協働事業の例	②主体どうしの関係	③うまくいった理由
	青色防犯パトロール	教育委員会と連携	犯罪など非行防止
	自警団の堤防の草刈り	自治会への補助金	
	区公民館の管理費 自治会へ		
	広報の配布		
リサイクルステーション			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のきずな。地域に対する愛着 ・地域をよく知っていること（役員、住民、行政） ・旧村では・・・子ども会 → 青年団 → 自警団 → 村の役員 というステップアップにより地域をよく知っている 実行組合、水利組合も!!（それぞれが担い手） ・人口減少をくい止める 若者が希望を持てるように ・障がい者にも働ける場所を（生きがい） ・スポーツ、芸術推進 ・多様性 いろいろな家族 ジェンダーフリー シングルマザー シングルファーザー 子どものできない夫婦→養子 ・30年先、50年先を見据えた政策を考える ・讃岐神社の継続は7ヶ大字では無理。（支援の）方法を考えてほしい！ 			

グループD

こんなまちに！ こんな暮らしを！	市民・NPO・事業者が	行政・議会が	みんなで力を合わせて（協働）
全住民がまちづくりに参加	住民、民間事業者の情報の場 いくつものプロジェクトチームを 地産地消をすすめるチームづくり	行政・議会は住民の意見を取り入れる (例)町の広報づくりに住民を参加！	住民・議会・行政三者の協働の場を 住民と行政で町政の見直しを
地域のつながりが強いまち	あいさつや声かけ ボランティアのネットワーク 地域行事の活発化、活性化 防災訓練、防犯活動	ボランティアの顔つなぎと会合 コミュニティの支援、コーディネート 情報共有と横展開	あいさつ、声かけ活動
人と人がつながるまち	人がつながる場をつくる	公共施設を提供し人がつながる場をつくる 広報で、人がつながる機会や場の情報を 発信する 行政が資金援助できるように議会は予算 を通す	ニーズを出し合い、吸い上げていく 声かけ、見守り 本来あるイベントを活かす 同じ場、機会を共有するために企画運営 を共にする
安心して過ごせるまちづくり	交流の場の提供 子どもの見守り 独居の方への定期訪問や外出を促す	危険素因の排除 通学路以外でも道路環境整備（死角をなくすなど）	地区内や町内の交流に参加する

<p>① 身近(広陵町内)にある参加・参画・協働の事例を探そう。</p> <p>② その主体どうしの関係は如何に？</p> <p>③ 「だからうまくいった」点をあげてみよう。</p>	①協働事業の例	②主体どうしの関係	③うまくいった理由
	真美校区 合同自主防災会	年 6～7 回の会合を、地区と行政担当者で行い、良い成果が出た(9/7)	互いに言いたいことが言える関係になったから。 2 年前断水による危機感から、自治会のない南 6 丁目自主防災会の立ち上げにつながる
	防災士ネットワークで 5 校区の防災訓練を考えている 校区防災訓練	5 校区より 1～2 名の住民が出て、参画している 住民の参画、行政の参加型	真美まちづくり連絡会
	登下校の見守り 花いっぱい運動	助成金	
	子育て支援の協働(補助金、公共施設の チラシ配架、新生児訪問) 乳児親子広場	話し合いを重ねる実績(3年) 1.住民、2.NPO、3.行政	ふだんからコミュニケーションをとってつながっていく

		keep 活動 通いの場		
		<ul style="list-style-type: none"> •協働のまちづくり提案事業補助金 → 乳児の子育て応援の広場 •行政が推進して + 防災士ネットワーク 防災士の数と参加意識で、真美と在来地区とで考え方が違う (真美はうまくいっているケース) 		